

# 接続料の算定に関する研究会

接続料の算定方法(NGN)及びNGNの県間伝送路のルールについて

2017年4月12日

一般社団法人 テレコムサービス協会



# 接続料の算定について

## ●NGNの卸メニュー(光コラボ)と接続メニュー

- ・現在の光コラボは、NTT東西殿との相対契約で、各社に提供される条件が不透明であり、業界団体としてオープンな交渉が困難
- ・一方、MVNOでは、接続メニュー、卸メニューを事業者が選択可能
- ・NGNで、接続メニューの提供を要望

## ●帯域換算係数

- ・大量利用時に割引されることになり、新規参入事業者が不利になることがある。
- ・新規参入事業者が不利にならないような配慮が必要

## ●GWルータの接続用ポートの小容量化

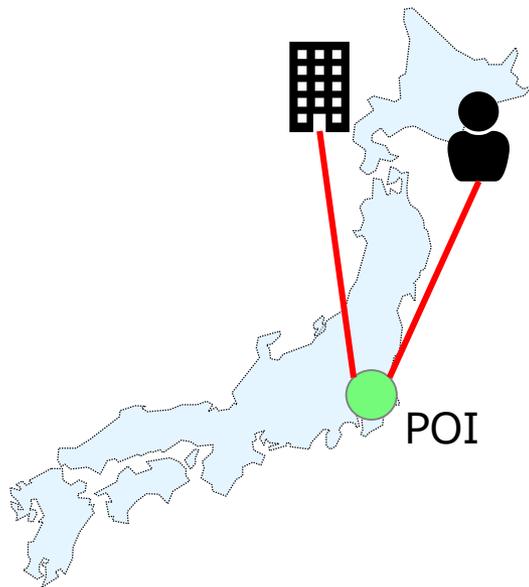
- ・利用促進につながるため歓迎

## ●県間伝送路

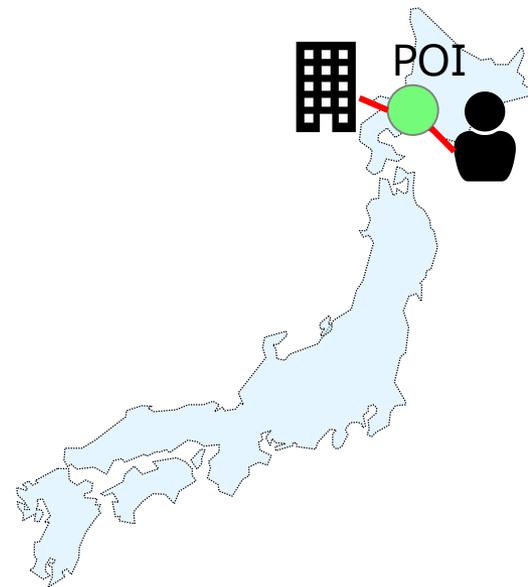
- ・ひかり電話の接続のためには県間伝送路の利用が必須
- ・接続料の公平性、透明性を確保するためのルール化が必要

# POIの増設

- 耐災害性や地域活性化のための地域へのデータセンター分散化において、東京と大阪のみで接続できないのでは、地方にデータセンターを設置してそこに データを置く意味が少なくなる
- 耐災害性や地域活性化のために、IPoE接続POIを都道府県単位や地域ブロック単位とすることが必要



POIが東京・大阪の場合



POIが各地域に存在する場合